

令和4年度（2022年度）行政評価シート

令和4年6月3日

評価者	都市景観部長 古賀久貴
-----	-------------

○ 施策の概要

総合計画上の位置付け	分野	3-(2) 都市景観	施策の方針	3-(2)-①良好な都市景観の形成
目標とするまちの姿	都市の歴史を彷彿させ、また、自然環境の豊かさを視覚的に認識できる魅力的な都市景観が形成されています。また、市民・事業者・NPO等の協力により、景観資源を活用した地域ごとの個性豊かなまちづくりが推進されています。			
主な取組	<p>(1) 良好な都市景観形成の誘導 魅力的な都市景観を形成するため、地域の個性を生かした景観形成を推進します。また、商業地、工業地及び住宅地などそれぞれの土地利用に沿った景観形成を誘導します。特に、景観的な配慮が求められる地域や、新しい都市づくりが期待されている地域では、重点的に景観形成を進めます。</p> <p>(2) 地域固有の景観資源の保存活用 景観資源を活用し、地域ごとの個性豊かなまちづくりを行うため、歴史的建造物などの地域の固有の景観資源の保存活用に取り組みます。</p>			

1 成果指標

成果指標①	豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに市民がみどりとふれあえるよう積極的な活用を図っていると思う市民の割合(再掲)					出典	市民アンケート調査		
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
令和2年1月	%	目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	
78.4		実績値	未実施	84.5					
		達成率	—	105.6%					
成果指標②	豊かな歴史的遺産が大切に保全され、伝統的な文化が保存・継承されているまちだと感じている市民の割合					出典	市民アンケート調査		
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
令和2年1月	%	目標値	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	
83.2		実績値	未実施	85.6					
		達成率	—	100.7%					
成果指標③	市内の屋外広告物に一定の制限があることを知っている市民の割合					出典	市民アンケート調査		
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
令和2年1月	%	目標値	50.0	50.0	55.0	55.0	60.0	60.0	
47.3		実績値	未実施	49.1					
		達成率	—	98.2%					

2 投入コスト

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	38,704	39,343				
人件費	49,238	51,374				
総事業費	87,942	90,717				

3 担当部評価

(1)「施策の方針の成果指標」の達成状況等を踏まえた施策の達成状況の分析

都市景観部

旧華頂宮邸、旧村上邸等景観重要建築物等の保存・活用のほか、新たに景観重要建築物等を指定(第37号「萬屋本店」)した。また、屋外広告物のきめ細やかな規制・誘導を図るため、鎌倉市屋外広告物条例を制定した。当該施策は、鎌倉らしい古都としての風格ある都市景観の創出・形成に資する適切な取組と評価している。

(2)今後の方向性

都市景観部

旧華頂宮邸については、平成8年に取得して以来、大規模改修を行っておらず老朽化が著しいため、当該建物の保存活用に向けた耐震補強・大規模改修工事の実施について検討する。
鎌倉らしい古都としての風格ある都市景観の創出に資するため、景観重要建築物等の保存活用を図る。

(3)施策の方針にひもづく事務事業の評価結果

重点事業	整理番号	事業名	法定受託事務	事業費(千円)	人件費(千円)	総事業費(千円)	事業評価	貢献度	最終評価
	都景-04	旧華頂宮邸管理運営事業		17,486	7,587	25,073	改善・変更	A	改善・変更
	都景-05	都市景観形成事業		21,857	43,787	65,644	現状維持	A	現状維持

(4)貢献度に関する分析

都市景観部

(1)旧華頂宮邸管理運営事業

旧華頂宮邸は、平成8年に本市に寄贈された「鎌倉三大洋館」のうちの1棟であり、当該施設の保存については、鎌倉らしい古都としての風格ある都市景観の創出・形成に貢献した。

(2)都市景観形成事業

市内に掲出される屋外広告物の規制・誘導のほか、旧村上邸等景観重要建築物等の保存・活用に努め、鎌倉らしい古都としての風格ある都市景観の創出・形成に貢献した。